

シナリオ，パート2

永遠の結婚についてのインスティテュートのレッスンの後で、ルイスもエマも、何かを変えて、もっと主を信頼した方がいいと感じました。次の週、ルイスはインスティテュートのクラスに到着すると、エマの隣に座り、自己紹介しました。やがて、彼らは仲良くなりました。二人は、一緒に時間を過ごして互いについて知り合えるような活動をたくさん計画しました。そのうちに、互いに対する強い感情が育まれました。

しかし、エマには幾つか心配なことがありました。エマには、夫に望む特質が幾つもありました。ルイスはその多くを備えていましたが、すべてではありません。

ルイスもまた、不安を感じ始めていました。エマのことは愛していましたが、自分の両親の結婚が解消されるのを目の当たりにしたため、結婚相手を選び間違えることを恐れていました。ルイスは、たくさんの会話やともにした経験からエマについて知ったことすべてを、注意深く検討しています。二人の目標は一致していると感じており、エマにプロポーズしたいと思っていますが、まだ分からない要素がたくさんあります。ルイスは、エマが正しい選択だと示すしるしを求めて祈っています。これまでのところ、何も起こっていません。

- 準備資料のセクション 2から学んだことについて考えてください。伴侶になる人に期待する特質に対してエマが臨んでいる方法について、助けになりそうなことは何でしょうか。伴侶になる可能性のある人への期待が低すぎる、あるいは高すぎる場合に、どのような問題が起こる可能性がありますか。
- ルイスが自分の恐れについて理解する助けとなることは何でしょうか。ルイスが啓示を受けることについて理解する助けとなることは何でしょうか。（準備資料のセクション3を、復習してもらおうとよいでしょう。）
- 二人が友情を育み、お互いの特質や性格、価値観についてもっとよく知るために、どのような活動や経験が役立つでしょうか。結婚の備えとして、あるいは結婚生活を続ける際に、あなたが育みたいと思う救い主の特質は何ですか。一つまたは二つ挙げてください。